

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月23日更新

事務事業名		保育所整備助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	坂井 竹志
	施策	4	子育て支援の充実			所属課	子育て支援課	担当者名	西本 理喜子
	施策の柱	16	子育てと仕事の両立支援			所属班	保育班	(内線)	1183
予算科目	会計一般	款 3	項 2	目 3	事業連番 11449	根拠法令	保育所等整備交付金		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 25 ~ 5 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	待機児童解消のための保育所等の創設や老朽改築による保育環境整備などの施設整備に要する費用の一部を補助することにより、子どもを安心して育てることが出来るような体制整備を行う。
【業務の流れ】	①施設整備計画の確認 ②県事前協議 ③県補助金申請 ④交付決定 ⑤工事着工～竣工 ⑥竣工確認 ⑦実績報告 ⑧補助金請求～支払い
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	待機を余儀なくされている保護者や新たに入所を申し込む保護者からは、保育所整備の要望がある。議会からも早急な待機児童対策が要望されている。合志市認可保育連盟からは、定員増へ出来る限りの協力をすると申し入れがある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	ひかりの丘保育園の増改築(定員90名→120名)及びクローバー保育園の新設(定員90名)について補助を行った。	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 待機児童対策の一つとして、保育所等の施設整備に対し、保育所等整備交付金を活用して施設整備費補助を行う。 新設100名分を公募により整備予定。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア:施設整備により定員増を行なう保育所等 イ:	(単位) 園 予算の主な増減の理由 整備数の減による補助金の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	施設整備を行なう事業者	(単位) 園 ②対象指標(対象の大きさを表す指標) ア:施設整備を希望する保育所等 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	定員増できるよう施設を整備する	(単位) 園 ③成果指標(意図の達成度を表す指標) ア:施設整備できた保育所数 イ:
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～5年度
施設整備により、児童の健全育成ができる。また、保護者は安心して仕事ができる。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標	ア 園	1	1	2	2	1	1	0	0	
	イ									
② 対象指標	ア 園	1	1	2	2	1	1	0	0	
	イ									
③ 成果指標	ア 園	1	0	0	3	1	1	0	0	
	イ									
投資 入 費 量	国庫支出金	千円	568,181	138,780	191,779	218,500	146,820	115,001		
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	71,021		23,972	105,358	18,390	14,375		
	(A) 事業費計	千円	639,202	138,780	215,751	323,858	165,210	129,376	0	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	0	0	
延べ業務時間	時間	580	850	600	850	500	500	0	0	
(B) 人件費計	千円	2,294	3,350	2,390	3,368	1,992	1,992	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	641,496	142,130	218,141	327,226	167,202	131,368	0	0	

事務事業名	保育所整備助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 施設整備について事前協議を済ませているため、目標は達成するものと見込まれる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 保育所の協力を得ながら最大限の施設整備を行っている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 施設整備については国が定めた基準があるため、削減余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人員のため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市町村は、児童の保育に欠けるところがある場合においては、保護者からの申込みがあったときは、それらの児童を保育所において保育しなければならないこととなっており、保護者は資力に応じた保育料を負担しているため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 保育の実施主体は市であるため適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

--	--

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> </table>																						